

「京都府総合計画(仮称)」中間案の総括質疑開催

京都府では、22年後の令和22年に実現したい、京都府の将来像を描いた「京都府総合計画(仮称)」中間案を立てています。府民の皆さまや地域・企業等と連携し、横断的に取り組む『府民協働で取り組むきょうとチャレンジ』、地域に着目した『エリア構想』、全体を分野別に体系化した『分野別基本施策』で、概ね4年間の取組を示した計画です。8月5日まで府民の皆様からご意見も募集していました。

この京都府総合計画に対して、令和元年10月1日に「新総合計画に関する特別委員会」が開催され、総括質疑が実施されます。今後、この計画を基に京都府の府政が運用されるため、京都府政の政策に対して重要な総括質疑となります。

この様子は、KBS京都放送にて生中継される予定ですので、ぜひご覧ください。
一部抜粋してご紹介します。

地域振興計画

山城地域振興計画(中間案)からの抜粋

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに、各地域の資源や特性を踏まえ、概ね4年間の取組を示した計画

山城地域の将来像(20年後に実現したい姿)

- 未来に夢がもて、未永く住み、働き、事業を営み続けることができる地域
- 互いに認めあい、大切にしよう交流と絆で結ばれた地域
- 豊かな自然環境、歴史、文化が生み出す創造と活力に満ちあふれる地域

4年間の対応方向(主なもの)

- (1)新名神の全線開通を見据え、それぞれのエリア特性に応じた地域づくりの推進
 - ①木津川右岸地域整備の計画的推進(城陽市、井手町、宇治田原町)
 - ▶ 城陽市東部丘陵地開発(アウトレット、次世代型物流拠点)、木津川運動公園北側区域の整備促進
 - ▶ 城陽井手木津川バイパス、宇治田原山手線、国道307号等
 - ▶ JR奈良線の全線複線化を目指し、駅前整備など鉄道利用者の増加に向けた取組の推進
 - ②学研都市と右岸整備が車の両輪となった京都イノベーションベルトの形成(京田辺市、木津川市、精華町)
 - ▶ けいはんな発の「スマート・シティづくり」の推進
 - ▶ 南田辺・狛田地区、木津東地区の整備促進、JR片町線の高速・複線化に向けた取組の推進
- (2)暮らしを支え、災害に強い持続可能な安心・安全の基盤づくり
- (3)子育てや長寿の安心を確保し、人権が尊重され、だれもがいきいきと暮らせる共生社会の実現
- (4)やましろ産業を地域の未来を支える柱へとパワーアップ

※詳細は、京都府のホームページに記載されていますので、<http://www.pref.kyoto.jp/keikaku/newplan/index.html>をご覧ください。

【第9回】有権者の声 京田辺市 Kさん

北川さんの『府政活動レポート8号を』読ませていただいた時に思った事がありました。

私は訳(?)あって、71歳の誕生日に運転免許証を返上しました。それまでは、駅の近くに住み、電車を利用したほうが早く用足しできるにもかかわらず、車を利用していました。

ところが、徒歩や自転車を利用するようになり、車に乗っていた時には気付かなかった道路の不具合とか不備というものを、身をもって知ることが出来ました。

道の段差、水はけのためとはいえ必要以上の道路の盛り上がり、歩行者・特に車椅子利用者のために施したカラーリング道路上への駐車、道路美観のために作った植え込みの枝葉が繁茂しすぎて歩行の妨げとなっている等、安心して歩けない道が多いことを知りました。

周りの風情を楽しみながら安心して歩けるような道作りも、府民の健康作りに欠かせない、大切な要素のひとつではないかと思った次第です。

北川さんには、こうした声にもしっかりと耳を傾けて、府民のためになる議員活動に励んでほしいと思っています。応援しています。

京都府議会議員 <京田辺市・綴喜郡 選出> Takashi Kitagawa Activities Report

北川たかし [きたがわ 剛司]

府政活動レポート 第9号 2019.08



プロフィール

京田辺市三山木生まれ/奈良育英高校 卒/大阪電気通信大学 工学部 卒/神戸大学大学院 経営学研究科 修了/元(株)富士通神戸エンジニアリング 勤務/元 流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督/元 関西大学 非常勤講師/(有)竹長 代表取締役/全日農 京田辺市支部 委員長/NPO法人 幸せに生きる力を育む研究所副代表理事/京都府議会議員
【資格】教育カウンセラー/産業カウンセラー/米田CTIコーチング(CPCC)/防災士/赤十字救急法救急員 など
【家族】妻、子ども2人 【趣味】スキューバダイビング/ラグビー

発行 北川 剛司 〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601



皆さまから多大なるご支援をいただき、府議会議員として、2019年5月に2期目をスタートすることができました。今年は、新産業創造特別委員会の委員長を拝命し、これまで以上に責任も重くなっておりますが、京都府のため、京田辺市、井手町、宇治田原町のために全力で取り組んでまいります。

1期目は、議員としてゼロからのスタートでしたが、大変多くのことを学びながら、一步一步ですが、多くの課題に対して前進させて来られたと思います。大きな事業としては、国道307号線奥山田バイパスも無事に完成することができましたし、307号山手線の推進、府が京田辺市に保有する60haの土地の活用計画も進んでいます。また、木津城陽線の計画も着実に進んでいます。

これからの4年間、2期目の活動としては、私のライフワークである「教育」について、家庭教育支援を充実させると共に、

大人も子どもも、障がいのある人もない人も、すべての人々が分け隔てられることなく、共に人格を尊重し個性を認め合いながら、安心して、笑顔でイキイキと暮らせる地域(まち)の実現を目指します。子どもたちが、笑顔でのびのびと育ち、将来の夢を持ち、実現させていくために、充実した教育を行うことができる環境を整えたいと考えています。

また、少子高齢化が進む中、健康寿命を支える活動を支援させていただきます。介護を必要とされる高齢者の方に向けて、住みなれた地域で生涯を安全安心に暮らせるように在宅介護、在宅診療の充実にも努めてまいります。

毎年、どこかの地域で豪雨災害が発生していますが、京田辺市、井手町、宇治田原町でも、災害に対する河川や山林などの整備を行うとともに、市町村をまたぐ危機管理体制・能力の強化にも努めてまいります。

この他にも、取り組むべき課題がたくさんありますが、それぞれの課題に対して、より具体的に取り組みが進むように、皆さんの意見も伺いながら、意見を伝え、提案できるように全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



京田辺市、井手町、宇治田原町を
笑顔でイキイキと暮らせる地域にするために
「革新」と「挑戦」で取り組みます。

京都府議会議員 北川 剛司



北川たかし事務所に、お気軽にお立ち寄りください

皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office

〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F
TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601

office@kitagawatakashi.net http://www.kitagawatakashi.net



2018年度

農商工労働常任委員会 活動報告

平成30年4月から平成31年4月まで所属していた委員会活動に対して報告いたします。

商工労働観光部の 主な所管事項

- 中小企業振興等産業 ● 労働 ● 雇用
- 観光 ● 計量

農林水産部の 主な所管事項

- 農業 ● 林業 ● 水産業 ● 農山漁村地域振興
- 農林水産物流通 ● 森林保全 ● 共生

全ての委員会活動の詳細は、京都府議会ホームページの「府議会の活動」に記載されています。ぜひご覧ください。

府議会HP <http://www.pref.kyoto.jp/gikai/katsudo/katsudo/index.html>

私の委員会活動の詳細については、北川たかしホームページもしくは事務局へお問い合わせください。

北川たかしHP <http://www.kitagawatakashi.net>

京都府議会の各常任委員会では、年4回の定例会において、各条例案などの審議を行うほか、議会の閉会中に委員会を毎月開催し、府政の重要課題について、テーマを設けて集中的に審議したり、京都府内や他府県に赴いて調査を行ったりしています。

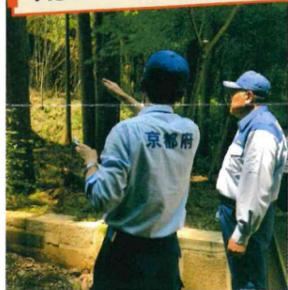
平成30年度の農商工労働常任委員会の閉会中の調査活動では、さまざまなテーマを選定し、参考人制度を積極的に活用して、専門的知見を有する方の意見を聴取し、テーマに関する議論を掘り下げました。

また、京都府を調査する管内調査では、京都府の施策が実施されている現場に赴いて、府の事業担当者や所管事項関連の事業者から、事業内容等の説明を聴取し、必要に応じて現地視察を行っていました。京都府外の他府県に赴いて調査する管外調査では、京都府とは地理的・社会的条件が異なる地域を訪問し、府と共通する課題に対して他の自治体がどのように対応しているのか、もしくは対応しようとしているのかを調査しました。

なお、平成30年7月豪雨により、府内各地において大きな被害が発生したことから、被災状況の把握と今後の早期復旧の取組のため、7月の管外調査を取りやめ、被災地の現地調査を実施しました。

管内管外調査

H30.7.24 管内調査



舞鶴市上福井大畑地区において、隣地被害の状況を調査

- 農業法人 株式会社 農夢**
- 中丹管内の農商工関連の被害状況について
 - 農業被害の状況について(ハウス冠水)
- 上福井大畑地区(舞鶴市)**
- 林地被害の状況について(山腹崩壊により土石流発生)
- 蓼原一帯の事業所(福知山市)**
- 商業被害の状況について(事業所の浸水)

H30.11.5~11.7 管外調査



概要説明を聴取

- 福山市鞆支所**
- 日本遺産を生かした観光振興の取組について
- 広島県庁**
- イノベーション立県を目指した取組について
- うきはの里株式会社**
- 道の駅を核とした観光地域づくりについて
- 株式会社久留米リサーチ・パーク**
- 福岡県バイオ産業創出事業の取組について
- 佐賀県農業試験研究センター**
- 大学・IT企業と連携したスマート農業導入の取組について



日本遺産認定地域を視察

H31.2.2 管内調査



杉田農園を視察

- 京都杉田農園(京田辺市)**
- スマート農業の取組について
- HILLTOP株式会社**
- 多様性のある人材確保等による事業のイノベーション推進について
- 京都市成長産業創造センター**
- 大学・企業等との連携による新規事業・創業の支援について

重要課題調査のための 委員会活動に関して

8月度 地域産業の活性化について

参考人として、株式会社企画塾 代表取締役塾長 高橋憲行氏をお招きして、地域産業の活性化位について話を伺い議論を行いました。地域産業を取り巻く環境は、人々のライフスタイルの変化、高齢化や後継者不足など、大変厳しい環境にあり、中小企業や商店、小規模事業所等は、自らの努力で切り抜ける必要がある。また、農山漁村においても、過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動に対して、6次産業化を含めたビジネス強化の取組等を通じて支援が必要である。

さらに企業環境は今、大きく変質しつつあり、特に顕著な変化は、IT化が進展し、加えてAI化、ロボット化が急速に進展する状況が見えてきている。これからは、あらゆる業種でその傾向を押さえ、どう活用するか、準備することが必要になってくる。今回の委員会では、参考人を招致し、商工業や農林水産業など地域産業の活性化について全国各地の先進事例にも学びながら、京都府における課題や今後の方向性について議論を行った。

1月度 イノベーションを生む新産業の創出について

有限会社エスアールフードプロデュース 斎藤三映子氏をお招きし、「京都経済センター」を核とした新産業の創出について、話を伺い議論した。府内の中小企業支援機能を集積し、府域の中小企業が抱える課題に対して、オール京都の総合力を結集して取り組むための新たな時代にふさわしい総合支援拠点として整備されている「京都経済センター」が平成31年3月に開業した。経済団体・中小企業団体・中小企業支援機関を集積するとともに、団体の垣根を超えた経済人等との交流と協働を促進し、新たなネットワークの創出やオープンイノベーション、産学公連携等を通じて、中小企業の「人づくり革命」「生産性革命」の推進が期待されている。

今年度の委員会が 決まりました



今年度は、総務・警察常任委員会、そして新産業創造特別委員会(委員長)に所属し、調査及び管理を担うことになりました。

常任委員会

■ 総務・警察常任委員会

- 総務部の所管及びそれに関連する事項
- 知事直轄組織の所管及びそれに関連する事項
- 政策企画部の所管及びそれに関連する事項
- 府公安委員会の所管及びそれに関連する事項
- 他の常任委員会の所管に属しない事項

特別委員会

■ 新産業創造特別委員会(委員長)

IoT、ロボット、人工知能等の先端技術を活用した新産業等の創出(農商工連携及び産学連携による創出を含む。)、次世代エネルギーの開発及び省エネルギーの促進に関する取組とその課題について調査し、及び研究する。



防災・減災について

北川たかしの目

平成30年7月5日から降り続いた平成30年7月豪雨により、南丹市以北の6市3町に災害救助法が適用、さらに、綾部市には被災者生活再建支援法が適用される事態となり、5名の尊い人命が失われました。

今後も、地球環境の変化にともない、今回の災害以上の大規模災害が予想されていますが、京都府の予算状況を鑑みると、全てをカバーする防災減災対策を行うための予算確保は、難しいのが現状です。

そこで、防災減災政策を根本から見直し、限られた予算の中で最大限の、府民の安心安全を確保する工夫が必要です。現状の予算は、発生時対策が大半ですが、今後は予防対策に重点を置く予算ヘシフトすることが必要と考えています。防災士としての知識を活かし、さらに向上させ、より有効な防災減災対策、方法などを府政に提言してまいります。